



創立1949年（昭和24年） 高松中学校は今年度で76周年を迎えました。

“シンガポール”までの距離

今月は、本校がシンガポールを身近に感じる一か月でした。本校から徒歩圏内にある、JR高輪ゲートウェイ駅付近の街の整備が進んでいますが、その関係で本校では昨年より、2年生が「シンガポール国立大学(NUS)」の留学生と交流する機会を設けています。NUSでは、学生が世界各国を訪れて学習・研究や体験をするプログラム(GEx)があり、その中にジャパン・コースが設定されています。その一環でこの取組が実現しています。昨年度は高輪ゲートウェイにある施設に一部生徒が出向き、グループごとに港区15の各地域の魅力をアピールするプレゼンを行い、その様子をリモートで学校とつないでディスカッションをする授業を行いました。全員が一堂に集まった交流にならなかったのが残念だったので、今年度は、5日(金)に学生方を本校へ呼び寄せて体育館で実施しました。プレゼンによる両校の紹介の後、グループに分かれて、ディスカッションをしました。テーマは「両国のSDGs」、生徒たちは、日本のSDGsについて調べたことを伝え、シンガポールのSDGsについて知ることができました。

また、10日(水)には、シンガポール本国よりオン・イェクン保健大臣、並びに駐日大使館よりオン・エン・チュアン大使を迎えました。先方の希望は、日本の「体育の授業」、「タブレットの使い方」、「給食」の視察でした。タブレットの使用については、子どもの長時間の視聴やSNSなどの面で、シンガポールでも日本と同様な問題を抱えているようです。それから、ランチルームでの配膳、盛り付けから「いただきます」「ごちそうさまでした」まで、日本の給食時間も体験していただきました。生徒からの質問にも丁寧に答えてもらえました。

そして、22日(月)から、3年生はシンガポールへ修学旅行に出かけます。(この文章は出発前に書いています。)現地学生と一緒に市内を班行動します。フィールドワークの課題を解きながら進みます。日頃学習している英会話を十分に試すチャンスです。水族館のバックヤードツアーに参加します。もちろん、説明はオール・イングリッシュ。現地NUSのキャンパスで、学生とのディスカッションをします。世界的に有名な「大学」を肌で感じて、いい刺激を受けてきてくれることを期待しています。毎回の食事、円卓での中華料理、マレー料理をはじめ、ホテルのビュッフェやショッピングモールのフードコートで好きなものを注文…と多彩です。外国の食文化に接することも貴重な経験になるはずです。

シンガポールは、飛行機で7時間かかるほどの離れたところにありますが、今月はいろいろと身近に接する機会があり、シンガポールまでの距離が少し縮まった感じがしています。



「NUS 学生とのディスカッション」と「給食のようすを視察する大臣と大使」



港区立高松中学校公式 X

学校生活のようすなどを公式 X にて発信しています。学校 HP の学校ブログと合わせてご覧ください。